

第 72 回大会プログラム キリスト教史学会

日時

2021年 9月10日（金）・ 9月11日（土）

会場

日本大学法学部

（Web 会議方式 Zoom 開催）

*大会参加用の Zoom URL およびパスワードは、
参加申し込みをした方に メールでお知らせします。

大会1日目

開会式 10:10～10:30

第3会場

挨拶	10:10～10:15	司会	会務理事	渡辺 祐子
歓迎の言葉	10:15～10:20		理事長	小檜山 ルイ
オリエンテーション	10:20～10:30		日本大学法学部次長・教授	坂本 力也
			専務理事	小川 早百合

総会 10:30～10:55

研究発表 11:00～12:05 (各発表は25分間、質疑5分間)

第1会場

司会：三好千春 (南山大学)

11:00～11:30

1. キリシタン伝来の「マリア観音」再考
—中国製白磁観音像の受容をめぐる一考察—
宮川由衣 (西南学院学院史資料センター)

11:35～12:05

3. ハンガリー・ボヘミア妃マリアの信仰についての一考察
—ルターへの5つの質問を通して—
伊勢田奈緒 (東洋英和女学院)

〈昼休み 12:05～13:00〉

研究発表 13:00～13:30 (各発表は25分間、質疑5分間)

第3会場

司会：花島光男

13:00～13:30

5. グリフィス・コレクションにみる3・1独立運動
李省展 (恵泉女学園大学)

シンポジウム 13:35～17:05

第3会場

「近代都市形成期のキリスト教と社会事業：黎明期の苦悩」

	司会	石川照子 大妻女子大学 比較文化学部教授
イギリス (ウェスレーと救世軍の事例から)	パネリスト	馬淵彰 日本大学法学部教授
ドイツ (「社会都市」の観点から)	パネリスト	平松英人 東京大学ドイツ・ ヨーロッパ研究センター助教

〈休憩5分 14:35～14:40〉

イギリス・アメリカ (G. ミュラーと J. アダムズの事例から)	パネリス	木原活信 同志社大学社会学部教授
日本 (東京史の視点から)	パネリスト	大岡聡 日本大学法学部教授
日本 (片山潜の事例から)	パネリスト	永岡正己 日本福祉大学名誉教授

〈休憩10分 15:55～16:05〉

コメンテーターおよびパネリスト間でのコメント フロアとの意見交換	コメンテーター	猪刈由紀 上智大学講師
-------------------------------------	---------	-------------

大会1日目終了 (予定) 17:05

第3会場

諸連絡



大会2日目

研究発表

10:00～12:15 (各発表は25分間、質疑5分間)

第1会場

司会：久松英二（龍谷大学）

10:00～10:30

6. テオドール・ベザ（1519-1605）における信仰の確信
—「必要・不可欠」かつ「立ち入った」対話に向けて

八木隆之（明治学院大学）

10:35～11:05

8. 第二バチカン公会議（1962年-1965年）

野村誠（共愛学園 前橋国際大学）

〈休憩 11:05～11:10〉

司会：久松英二（龍谷大学）

11:10～11:40

10. 『天主之番兵』の編集者三島良忠と明治カトリック教会

山梨淳

11:45～12:15

12. 1558年11月時点でのイングランドにおける司教座空位について —メアリ1世のカトリック復興失敗の一因—

石川雄一

〈昼休み 12:15～13:00〉

公開講演

13:00～15:00

第4会場

司会 徐正敏（明治学院大学）

同志社大学 小原克博

「パンデミックとキリスト教」

閉会式

15:00～15:15

第4会場

オンライン情報交流会

15:20～16:30

第4会場

司会 朱海燕（東京外国語大学・明治学院大学）



*本年度は懇親会の代わりに交流の場として開設しますので、ご自由にご参加ください。